



No. 35
2024年8月10日

発行所：社会福祉法人しんじゅ
発行人：猪坂 一彦

本部事務所
ホーリーツリー東部
たおじ分室
ホーリーツリー西部
ホーリー離宮
ホーリーハウス
ステーションしんじゅ
福祉の店「いたやど」
ホーリー須磨
ホーリーピンゴ
ホームページ

739-5350 654-0054 神戸市須磨区須磨本町1-1-6
821-1586 657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22
987-2532 651-1312 神戸市北区有野町有野字白原3689
739-5360 654-0054 神戸市須磨区須磨本町1-1-6
754-6760 654-0065 神戸市須磨区離宮前町1-1-29
739-5390 654-0054 神戸市須磨区須磨本町1-1-6
731-3340 654-0065 神戸市須磨区離宮前町1-1-29
733-2477 654-0022 神戸市須磨区大黒町2-2-12
739-5359 654-0054 神戸市須磨区須磨本町1-1-6
846-1812 657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22
http://www.shinju.or.jp

巻頭言

【挨拶】

理事長 猪坂 一彦

社会福祉法人「しんじゅ」の理念

1. 愛情をもってふれあい、共生の中で人間性豊かな人生を築こう
2. 安全で、安心して生活できる場を実現しよう
3. 自由で尊厳ある人生を全うしよう

ホーリーツリーの1階は、生活介護の事業所です。入口に立つと、いつも一番奥にいる利用者さんが私を目ざとく見つけて、手を挙げて「オッスー」。つられて何人か「オッスー」の挨拶。
私の通った米田（よねだ）小学校（高砂市米田町。ちなみに、校庭には二宮金次郎の石像がありました。）の校歌「海のひびきののよいみち／われらはそだつくすく／われらはそだつくすく／われらはそだつくすく／われらはそだつくすく／米田 われらの米田」。私はしんじゅに奉職以来、米田をしんじゅに置き換えて口遊んでいます。
「オッスー」に「オッスー」。呼びかわしつづつ笑みいつつ、エールの交換。気分は途端に爽快。
挨拶といえば、親しくしていただいている施設で、訪うたびに感じ入ることがあります。それは、その施設の職員の対応の柔らかなこと。誰もが微笑んで挨拶。きつと身に備わったものでしょう。たまたまのずから話は弾みます。
その法人の永い歴史に培われた利用者と思う気持ちと通底していることを実感します。
当法人の東郷監事の事業監査において、「利用者と介護に当たっている職員との立場を異にする場合、お互いの溝を埋めて理解しているながら、尚且つ一寸した言葉の遅れや解釈の取違えから相手を傷つけてしまうことになりかねない。利用者の求めていることを的確に受け止め、正しく理解するには常日頃からのコミュニケーションが大切です。」との指摘がありました。普遍的な課題です。
我がしんじゅでは、この課題を常日頃から職員同士、切磋琢磨し研鑽に励んでいます。
意思疎通は、「まず挨拶、それも微笑をもつて」の積み重ねで培われていくのです。これはまごうこと無き真実でしょう。
どなたにも「まず挨拶、それも微笑をもつて」。

しんじゅ くんれん教室

神戸市東部・神戸市西部の2カ所で土曜訓練教室を実施しています。

*目的

- ・この訓練会は「社会福祉法人しんじゅ」の理念のもとに、地域に住む心身障害児者に訓練を受ける機会を提供し、利用者が心身の改善と克服を目指します。
- ・養護学校を卒業した障害者が、学校で継続して受けてきた訓練を、卒業と共に断ち切らず、訓練を続けていくことを目的としています。
- ・保護者においても、日常の訓練方法の習得の場とし、またお互いの情報交換・親睦の場であり、訓練教室を開催するに当たり、支援協力することを目的としています。

*事業内容

- ・訓練を受ける障害児者をトレーニーとし、訓練に当たる学校教師などをトレーナーとする。
- ・養護学校で受けてきた訓練方法、動作訓練などを中心に、有資格者が指導を行う。
- ・トレーナーがトレーニーの種別・程度、特性に応じて訓練を行う。
- ・動作訓練を通して、機能改善、二次障害防止、障害に対する生活面での指導を同時に行い、社会性についても学び、より一層の自立を目指す。
- ・トレーナー（教師）は、各自研究、研修してきたことを、この機会に適切な指導・訓練・援助ができるようにし、地域に反映していくよう努める。（トレーナー、スーパーバイザーは主としてボランティア）

*実施場所

（東）灘さくら支援学校 （西）いぶき明生支援学校

*実施日・時間

（東）—— 毎月第1土曜日（学校行事により変更あり） 13:30～15:30
（西）—— 毎月第3土曜日（学校行事により変更あり） 13:00～15:00

*対象者

訓練を希望する障害児者

*参加者

上記のものにかかわる保護者、ボランティア、介護者

*年間参加予定人数

（東）トレーニー 55人（予定人数） （西）トレーニー 60人（予定人数）
トレーナー 45人（予定人数） トレーナー 50人（予定人数）

訓練教室は平成5年開室 ※利用者募集中

お問合せ：社会福祉法人しんじゅ 本部 Tel 078-739-5350
または各事業所

しんじゅ 絵画教室



*目的

障害ある方々が、その障害にめげず、絵画活動を通じて、描く喜びと希望を得られるようサポートすることを目指します。

*対象者

神戸市在住の障害者

*内容

講師、講師補助の指導を得て、ヘルパーさん、保護者の支援を受けながら絵画活動をおこなっています。

*実施場所

垂水勤労市民センター美術室

*利用者(会員)

10名

*実施日・時間

毎月1回日曜日（年間11回）
14:00～16:00

*展覧会

兵庫県肢体不自由児者協会主催の美術展に出品
年1回 2月（於：ギャラリーミウラ）

当教室から毎回入選者を輩出しています。

絵画教室は平成4年（1992年）開室 ※利用者募集中

お問合せ：社会福祉法人しんじゅ 本部 Tel 078-739-5350
または各事業所



ホーリーツリー

神樹の木



2011年の竣工式で
宮脇前理事長植樹の
【神樹の木】がこんなに
大きく育ちました

新評議員のご紹介

この度、当法人の評議員として着任させて頂きました福本 行太朗と申します。現在、他法人の重度障害者の生活介護事業所の施設長として働かせて頂き、8年目を迎えています。障害分野の仕事に就くのは初めてでしたが、利用者の皆さんの笑顔や仕事に励まされ癒されると共に、職員の熱意に勇気付けられ、充実した日々を過ごさせて頂いております。先日、はじめて当法人の委員会に出席させて頂きました。評議員の皆様から、多くのご意見を伺うことが出来ました。中でも利用者の皆様の重度高齢化、保護者の方の加齢による支援力の低下、さらに医療ケアと医療機関との連携、看取り、終の棲家等、福祉全般の抱える問題・課題について発言させて頂きました。障害を持つ子供から高齢に至るまで、個々人のライフサイクルに見合った支援の在り方について、改めて考えさせられたところです。それらの課題と要望について、理事長をはじめ理事の皆さんが真摯に受け止める姿勢に感銘をうけました。まだまだ、法人全般の運営に意見を述べるほどの経験も積んでおりませんが、ご指導を賜りながら、皆様と共に評議員としての任を果たせて行ければと思っております。宜しくお願い致します。

評議員 福本 行太朗

第57回 全国肢体不自由児者父母の会連合会 全国大会 第58回 近畿肢体不自由児者福祉大会 奈良大会

ご案内

*日程 令和6年9月14日(土)～9月15日(日)
*会場 なら100年会館第ホール／中ホール
奈良県奈良市三条本町8-1 Tel 0742-35-5531

*大会テーマ 住み慣れた地域で自分らしく生きる
～重層的支援体制 誰一人取り残さない社会をめざして～

*趣旨(抜粋)

2021年には「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行され、障害者の生活に関わる支援という面では、施設や制度が整備されてきたといえます。しかし、介護人材の慢性的な不足、社会資源不足、地域間格差、障害者への理解不足、合理的配慮の不提供などの現実に加えて、近年は、高齢化した親が重度化した障害者を介護しなければならない「老障介護」という複雑化した課題が大きくなり表面化してきました。

それに対して、国は、社会福祉法を改正し、従来の分野別の支援体制に加えて、障害・介護・子育て・生活困窮といった「くらしの困りごと」に横断的・包括的に支援する「重層的支援体制整備事業」を創設しました。誰一人取り残さない社会を目指すこの事業が、われわれ親たちが長年思い描いてきた「住み慣れた地域での共生社会の実現」に結びつくことを願ってやみません。また、平時はもちろん大規模災害が発生した非常時こそ、「誰一人取り残さない社会」を実現しなければなりません。

今後、父母の会の活動を通して、解決していかねばならない課題を共有し、広く提言を行う場として今大会を開催いたします。

感謝

●寄付（日付順・敬称略）
令和6年1月～7月の間に次の方々から尊い寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。
高田 嘉英 宮脇 尚志 (株)スターパック
江見 容子 加藤 千鶴子 宮前 孝子

ホーリーツリー離宮

ホーリー離宮一同

最近取り組み始めた「園芸療法」の様子をお伝えします。
まず初めに「何の花や野菜を育てようか？」次に「どのようにして育てていくのかな？」とネットなどを活用したり、いろんな方からアドバイスをもらったりして考えました。

後日、外出を兼ねてホームセンターに種・苗を購入しに行きました。「どの苗が元気かな？」「これが美味しそう」など会話が弾んで楽しい時間となりました。

植え付けは、個人の時間を活用して行いました。水やりも草引きも職員と一緒に頑張っています。空いた時間があると「水やりに行こう！」と積極的に声を上げてくれます。毎日お世話していると「大きくなったね」、「これで何を作って食べようか」と会話がはずみます。

外に出る機会も増えて、笑顔も増え、みんな更にパワーアップしてます。美味しい野菜もどんどん成長しています。皆さん見に来てくださいね！



ホーリー離宮 利用者共同作品【秋だ！スポーツ！】(0.8m×2.2mの大作)

令和5年度 一般財団法人 兵庫県肢体不自由児者協会 美術展 出品作品
日時：令和6年1月30～2月4日 場所：ミウラギャラリー



ステーションしんじゅ

木場 美子

ステーションしんじゅでは居宅介護と移動支援があり、移動支援では外食やお買い物、ご利用者の希望に沿って動物園やスポーツ観戦など様々な外出の支援を行っています。

その中でも今年に入り、「リハビリ」への付き添いがありました。

ホーリーハウスのご利用者が帰省



いま 靴下をぬいでいます

中にご家族と月1回リハビリへ通われている移動支援です。今までリハビリを受けていた事も知らず、ハウスでは車椅子やベッド上の状態以外知らなかったの、床上で背もたれなく座位保持が出来る事、座位にて靴下をご自身で脱げる事、仰臥位からうつ伏せになり座位姿勢になれる事、どの場面にも感動してしまい、ご家族へ写真や動画を撮らせて頂きたいとお願ひしたほどです。

外出は、ご利用者の楽しむ様子や普段見られない表情に、支援出来て良かったと感じています。今回リハビリでは感動もあり頑張っておられる姿に、微力ながらもハウスで出来る正しい姿勢の声掛けや、ADLを維持できるよう支援していく事を強く思いました。

6月には須磨シーワールドがOPENし、皆さん気になっていますがまだまだ混雑している様子なので少し落ち着くのを待ちわびている状況です。

活動時期：令和6年2月22日(木)～25日(日)
地震から1ヶ月半がたち、ボランティア登録するも、なかなかコーディネートされず、先に神戸から現場入りしている方を頼りにテントを張れる場所、作業のニーズを聞き、できることがある可能性があるので、行くことを決定。今回は5名(内3名は初めての若い方)を選抜。
22日午前中に買い出しをし、昼過ぎ出発。金沢に入るもあまりに普通なので違和感があつたが、現地に入つて愕然。それはものすごいものでした。23日、備前の朝市近くの重蔵神社の境内にテントを張り、ベースキャンプにする。午後より炊き出しをしている地元グループの依頼で雨水を貯めるタンクを2基設置する。
24～25日、地元に残り、医療活動をしている診療所の物品の運び出し。夜、帰郷。
私は、日本海でのナホトカ号重油流出事故(平成9年1月2日)から始まり、その後、災害ボランティア活動に参加しています。



能登半島地震でボランティア活動

ホーリーツリー西部職員 大西 晋

ホーリー東部

平川 はるな

「世界パラ陸上」が神戸で開催ということで、5月22日(水)に朝から総合運動公園のユニバー記念競技場へ行きました。

天気も良く、見晴らしの良い場所から皆で観戦。周囲の歓声に負けず劣らず、大きな声や拍手で応援をしたり、選手たちの使用する用具に興味を持ったりと各々で楽しむことができました。

昼は車で移動し、ホーリーツリー本部のしんじゅホールを借りて昼食を食べました。少しの滞在時間ではありましたが、東部と西部のメンバーが顔を合わせることもでき、観戦だけでなく様々な刺激を得ることができ、有意義な1日になりました。



ホーリーツリー東部 たおじ分室

太田 すみ代

令和6年度より新しく職員が加わり、4月、みんなで恒例行事の「お花見」に行きました。天気にも恵まれ、有野川沿いの桜並木に春風を感じながらのお散歩は、また格別でした。

新しい職員のアイデアがすばらしくて、レクリエーションの幅も広がり、毎月、ペットボトルボーリング大会・ピン倒し大会・カーリング大会など、たおじ選手権を実施しています。利用者さまは喜びで笑顔いっぱいになります。

今後も、利用者さまにより多くの笑顔を提供できるように職員一同頑張っていきたいと思ひます。



職員紹介

ホーリーツリー東部たおじ分室 篠原 英剛

4月よりホーリーツリー東部たおじ分室に配属となりました篠原英剛と申します。

三木市の生活介護施設で働いていましたが、昨春秋、2人目の子供が生まれたこともあり、自宅から近い「たおじ分室」に転職いたしました。

利用者さまがワクワクするような行事やレクリエーションを考えることが好きです。たおじ分室は少人数でアットホームな事業所です。「少人数だからこそできる楽しいこと」をこれから利用者さまと一緒に見つけていきたいと思ひます。

宜しくお願い致します。

計 報

井上 愛子さま

ホーリーツリー東部ご利用の

井上 智博さまのお母さま
令和6年6月18日亡くなられました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

西田 啓治さま

当法人の経理顧問である西田・山本
会計事務所の所長 西田 啓治さまが
令和6年7月9日亡くなられました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

昨年度末に報酬改定が発表され、法人職員は対応に大変でした。
コロナ禍は報道されることは稀になりましたが、いまだ執拗に蔓延しています。
しんじゅでは衛生管理に十分な注意を払いつつ支援に・レクリエーションに励んでいます。その様子を記事にしました。利用者さまの笑顔が私たちに何よりの励みです。
一面に、近く開催される第58回近畿肢体不自由児者福祉大会を案内し、併せて大会趣旨を抜粋して掲載致しました。
また、保護者会において多くの方からご利用希望のあった「くねれん教室」・「絵画教室」を改めて案内することに致しました。(編集員一同)